

第二部・95フランスアヴィニョン演劇祭参加作品 黒テント公演

# 「ヴオイツエック」

一九九五年十月二十八日 土

開場 十六時  
第一部開演 十六時三十分 / 休憩 十八時~十九時  
第二部開演 十九時

## ■第二部

「ヴオイツエック」  
いつの時代にもヴオイツエックはいる。世界のどこにでもヴオイツエックはいる。20年間、テント劇場で日本全国を巡演してきた劇団黒テントが、独自の手法で現代に蘇らせる、ゲオルグ・ビュヒナーの名作。  
フランス・アヴィニョン演劇祭95で大好評を得たアジアの道化たちの演劇的魔法がつくり出す、笑いと音楽とドラマの世界。

## 「ヴオイツエック」

■作/ゲオルグ・ビュヒナー ■演出・美術/佐藤 信  
■訳/浅野利昭 ■作曲/荻野清子  
■照明/斉藤茂男 ■音響/市来邦比古  
■制作/宗重博之・吉田重幸  
■出演/斉藤晴彦 竹屋啓子 西山水木  
小篠一成 桐谷夏子 岩井ひとみ 内沢雅彦  
小西康久 横田桂子 木野本啓 田村義明  
山下順子 李 弥 渡辺真紀子 荻野清子

### ▶なぜ、テント演劇か？

ぼくたちはいつも、自分たちの演劇の観客を捜している。そのために、劇場で待っているだけでなく、自分たちの方からも出掛けていく。

### ▶ヴオイツエックとはだれか？

得体の知れない不安にかられて、せかせかと動きまわる人。160年前のヘッセンの詩人の観察は正確だった。

### ▶ヴオイツエックをレポートに取り上げた意味は？

これが喜劇であること。もともと、すぐれた戯曲は本質的に喜劇であるのだが。

### ▶アジア演劇の特質は何か？

内面的リアリズム。様式への想像力。

### ▶演劇は現代世界を再現出来るか？

古典的なものであれ、現代的なものであれ、演劇はいつもぼくたちの歴史的な現在の最も自由な発露だと考えている。

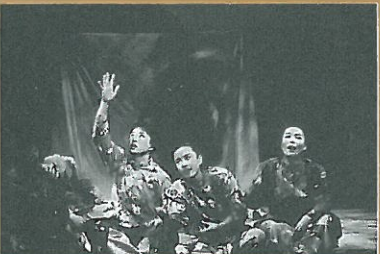
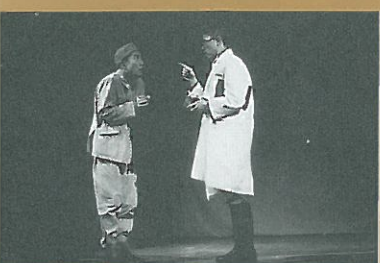
### ▶黒テントの演劇のモットーは？

絶え間のない変化。集団的な創造。

### ▶なぜ碧南で上演するのか？

新しい観客を捜して。

入場料 大人三、〇〇〇円(当日三、五〇〇円)  
小中高生二、〇〇〇円 ■全席自由  
(第一部、第二部共通)  
団体、友の会会員は一割引です。  
■チケット予約/団体(20名様以上)、芸術文化ホール友の会会員は八月二十日日より、一般は八月二十七日日より受け付けます。電話予約でも結構です。  
■ご予約、お問い合わせは、  
芸術文化ホール TEL0566・48・3731へ。



主催/碧南市・碧南市教育委員会